近畿自然歩道 30 熊野本宮大社を訪ねるみち

1 ほっしんもんおうじ **発心門王子**

明治の神社合祀後は王子跡を示す碑が残るのみであったが、近年社殿が建てられた。「発心門」とは悟りの心を開く聖域への入り口を意味する。県の指定史跡。

2 みずのみおうじあと **水呑王子跡**

中世の史料には「内水飲王子」との記述がある。現在の名が定着したのは江戸時代以降とみられる。

3 きくすいいど **菊水井戸**

この辺りでは、山の高台にあるにも関わらず水が多く湧き出す。菊水井戸はその代表といわれ、井戸が出来て100年以上経った今でも水が湧いている。

4 ふしおがみおうじあと **伏拝王子跡**

京都を出発した熊野詣の人々が、最初の目的地である本宮大社が鎮座する光景を目の当りにし、感動のあまり伏して拝んだといわれる場所。

5 さんげんちゃやあと **三軒茶屋跡**

熊野と高野山を結ぶ果無街道と中辺路街道が交差する地。文字通り3軒の茶屋が軒を連ね、かつては中辺路銀座と呼ばれる程の賑わいを見せたという。

6 くきがくちせきしょ **九鬼ヶ口関所**

かつては小辺路を少しトったた九鬼ヶ口という所にあり、熊野に入る参詣者から通行税を徴収していた。ただし、現在の関所は復元されたものである。

7 **和歌山県朝日夕陽百選**

熊野蘇生の森に新名所として造られた展望台。大塔山系に沈む夕陽が熊野の山々を美しく輝かせる。

8 はらいどおうじあと **祓殿王子跡**

海南市の藤白神社近くにも同名の王子があり、いずれも聖域に入る前に身を清める場所であったとされる。県の指定史跡。

9 くまのほんぐうたいしゃ **熊野本宮大社**

熊野信仰の中心となる聖地。熊野詣の全ての道がこの地を目指している。かつては熊野川の中州にあったが、明治の大洪水で遷座した。国の重要文化財。

10 くまのほんぐうたいしゃとりい **熊野本宮大社鳥居**

本宮大社の入り口。大きな幟に描かれているのは、神々の使いとされる3本足の鳥「八咫烏」(やたがらす)。日本サッカー協会のシンボルとしても有名。

11 うぶたしゃ **産田社**

本宮大社の末社。主祭神は、八百万の神々の産みの親といわれる伊邪那美命で、女性の守り神として信仰を集めている。

12 おおゆのはら **大斎原**

本宮大社の旧社地。明治の大洪水で社殿が移された後は、その跡地として祀られている。高さ33.9mの大鳥居は日本一の鳥居として知られている。

交通情報

▼起点：発心門王子バス停
（田辺市本宮町発心門）
・運行頻度：1日3本程度
・龍神自動車㈱
TEL：0739-22-2100

▼終点：大斎原前バス停
（田辺市本宮町本宮）
・運行頻度：1日10本以下
・熊野交通㈱
TEL：0735-22-5101
・龍神自動車㈱
TEL：0739-22-2100

注意事項

▼自然は私たちの貴重な財産です。木・草花・動物・岩石等の採取はせず、後世に残せるよう自然を大切にしましょう。

▼近畿自然歩道は地域の方の御協力により指定させて頂いているルートです。私有地へ立ち入る際は当該地で定められているルールに注意しましょう。

▼ゴミ・あき缶・ピン・ペットボトル類は必ず自分で持ち帰りましょう。

▼沿道の住人をはじめ他人の迷惑になるような行動は慎みましょう。

▼山岳地のコースなどでは、特に台風・大雨等の後は、落石・倒木・土砂崩れ等の恐れがあるため、十分注意してご利用下さい。

▼車道との兼用道もありますので、自動車等に注意してください。

▼交通の不便なところや足下の悪いところもあります。あらかじめ調べておきましょう。

行程図

凡例

トイレ　公衆電話
水場　駐車場
休憩所　バス停
売店　駅

0　1km

和歌山県
Wakayama Prefecture
環境生活総務課 自然環境室
〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1
TEL：073-441-2779
FAX：073-433-3590
メール：e0320004@pref.wakayama.lg.jp

印刷　株式会社 阪和写真印刷所　〒646-0216 田辺市上三栖1499-61　☎0739-81-1555

このWebサイトで掲載している地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである(承認番号 平22近複、第68号)。